

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、下記項目につきまして、検査の受託を開始いたしますのでご案内申し上げます。

ご利用の程、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

新規受託項目

- QFT-Plus (クオンティフェロン TB ゴールド プラス)

検査要項

項目コード/項目名	3960 / QFT-Plus (クオンティフェロン TB ゴールド プラス)
採血容器	ヘパリンリチウム採血管《写真は裏面参照》
検体必要量	5 mL
検体の保存方法	採血後3時間以内に冷蔵(2℃~8℃)…48時間まで保存可能
報告日数	3~5日
検査方法	ELISA法
報告項目	判定、TB1値、TB2値、Nil値、Mitogen値 《詳細および報告範囲は裏面参照》
検査実施料/判断料	630点/144点(免疫学的検査)

※当該検査の受託に伴い、現行のクオンティフェロン-TB(項目コード:3263)につきましては、平成31年4月27日(土曜日)をもちまして検査受託を中止させていただきます。

受託開始日

- 平成31年4月1日(月)受付日分より

主な変更点

- ・従来のCD4陽性細胞を誘導する採血管に、CD8陽性細胞を誘導する採血管が加わることにより、免疫機能低下症例や小児への対応が可能になります。検出感度および精度の向上が期待されます。
- ・採血業務の負担軽減を図るため、ヘパリンリチウム採血管（5mL）1本採血に致しました。
- ・採血後3時間以内に冷蔵（2℃～8℃）することで最大48時間保存できます。
- ・弊社内で、QFT専用採血管4本に分注します。



ヘパリンリチウム採血管使用について

外径×長さ 12.7mm×100mm
管サイズ 7mL
採血量 5mL（最低必要量 4mL）

最低必要量に満たない場合、検査不能とさせていただきます。別採血管にて採血を行い、合計で必要量あれば検査は可能です。ヘパリンリチウム以外の抗凝固剤は、IFN- γ 産生を阻害するため使用不可とさせていただきます。

本検査の結果に対する基準

Nil 値	TB1 値	TB2 値	Mitogen 値	判定	解釈
8.0 以下	0.35 以上かつ Nil 値の 25%以上	不問	不問	陽性	結核感染を疑う
	不問	0.35 以上かつ Nil 値の 25%以上			
	0.35 未満、あるいは 0.35 以上かつ Nil 値の 25%未満		0.5 以上	陰性	結核感染していない
8.0 を超える	不問	不問	0.5 未満	判定不可	結核感染の有無に ついて判定できない
			不問		

報告項目の説明および報告範囲

判定 陰性・陽性・判定不可（今回の検査より判定保留はありません）

TB1 値 (IU/mL) IFN- γ TB1^{注1)} - IFN- γ N^{注4)}

TB2 値 (IU/mL) IFN- γ TB2^{注2)} - IFN- γ N^{注4)}

Nil 値 (IU/mL) IFN- γ N^{注4)}

Mitogen 値 (IU/mL) IFN- γ M^{注3)} - IFN- γ N^{注4)}

注1) IFN- γ TB1 : QFT TB1 チューブ血漿の IFN- γ 濃度

注2) IFN- γ TB2 : QFT TB2 チューブ血漿の IFN- γ 濃度

注3) IFN- γ M : QFT Mitogen（陽性コントロール）チューブ血漿の IFN- γ 濃度

注4) IFN- γ N : QFT Nil（陰性コントロール）チューブ血漿の IFN- γ 濃度

測定値につきましては、小数点以下第2位まで報告いたします。報告範囲は10.00 (IU/mL) 以下は実数で報告します。また10.01 以上につきましては、一律>10.01 と報告いたします。

お問い合わせ先：細胞免疫課 坂本 TEL 011-644-1354